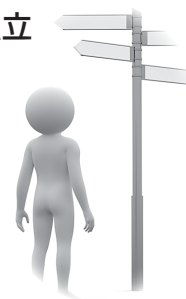


## 特集 企業内診断士4つの選択——企業内・副業・転職・独立

# 第1章 アンケートから迫る 企業内診断士の実態



佐藤 和哉  
東京都中小企業診断士協会中央支部

中小企業診断士は、「企業内診断士」と「独立診断士」に大別される。全体の割合では、企業内診断士が多いのは明らかである。

しかし、企業内診断士と一くりにしてしまうと、その多様性が薄れてしまう。なぜなら、企業内診断士の資格の生かし方には、いくつかのスタイルが存在するからである。

「資格を現在の仕事に生かしてキャリアアップを目指している企業内診断士」、「企業内で診断士会を立ち上げて活動している企業内診断士」、「副業・兼業制度を利用して活動している企業内診断士」、「資格を生かして転職し、企業内診断士としてさらにステップアップをしている企業内診断士」、そして「企業内で独立の準備をする企業内診断士」と、企業内診断士には多様なタイプが存在する。

このように、企業内診断士のスタイルは1つだけではなく、多様なスタイルが存在しているため、自分に合った診断士資格の生かし方が必ずあるはずだ。

本特集では、アンケートによる企業内診断士の実態把握と4名の中小企業診断士へのインタビューにより、「企業内診断士の資格の生かし方」を探っていきたいと思う。

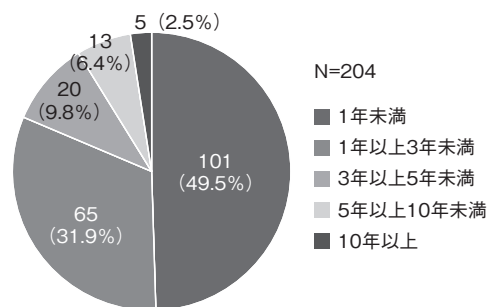
## 1. アンケートの概要

2019年11月1日から2ヵ月間、インターネットアンケートを行い、企業内診断士204名から回答を得ることができた。204名の診断

士歴は図表1のとおりである。

また、本アンケートの実施と同時に、「独立の道を選択すること」の検証のため、独立診断士にもアンケートを行い、153名の回答を得た。企業内診断士、独立診断士を問わず、アンケートにご協力いただいた多くの中小企業診断士に感謝を申し上げたい。

図表1 資格取得後（登録後）何年経過しますか



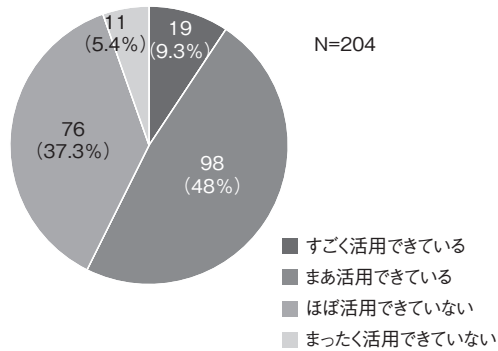
## 2. 企業内診断士の現状

### (1) 半数は診断士資格を活用できている

「現在、診断士資格を活用できていますか」という質問に対して、「すごく活用できている」、「まあ活用できている」と回答した数は、合わせて117名（57.3%）である。半数以上が資格を活用できていると考えている。

一方で、「ほぼ活用できていない」、「まったく活用できていない」と回答した数は、合わせて87名（42.7%）であり、資格を活用できていないと考える人も半数弱存在する。

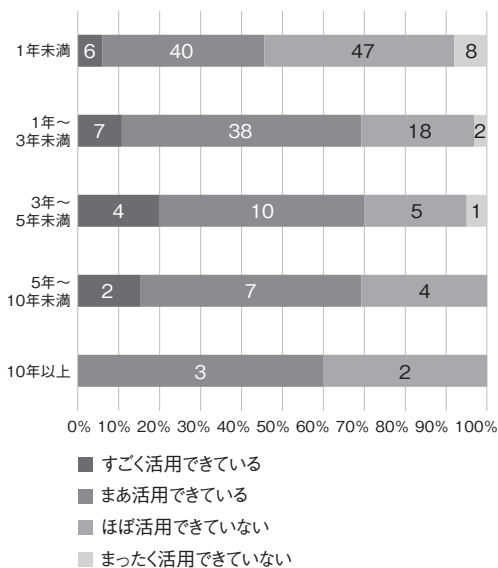
図表2 現在、診断士資格を活用できていますか



これを診断士登録後年数別に詳しく見てみると、登録後1年未満の中小企業診断士では54.4%が活用できていないと回答している。登録年数を重ねていくと、70%近くが活用できていると回答している。

企業内診断士として資格を活用できていると実感が持てるのは、2年目以降だと考えられる。

図表3 登録年数別の資格活用意識



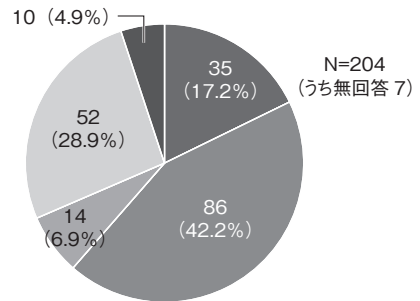
(2) 半数が副業・兼業での活用を意識

「資格を活用する計画はありますか」という質問に対して、「将来、今の仕事を続けつつ兼業や副業で資格を活用したい」と回答した数が86名（42.2%）で最多だった。昨今、副業・兼業を認める企業が増加してきたことを表す結果であろう。

次に多い回答は、「将来、診断士として独立したい」で、52名（28.9%）であった。全体の約3割で独立志向が見られる。

「将来、自社内で診断士資格を生かした仕事がしたい」という回答は、35名（17.2%）であった。また、「将来、診断士資格を生かして転職したい」という回答は14名（6.9%）と、あまり多くはなかった。

図表4 将来、資格を活用する計画はありますか



- 将来、自社内で診断士資格を生かした仕事がしたい
- 将来、今の仕事を続けつつ副業や兼業で資格を活用したい
- 将来、診断士資格を生かして転職したい
- 将来、診断士として独立したい
- 将来の計画は特にない

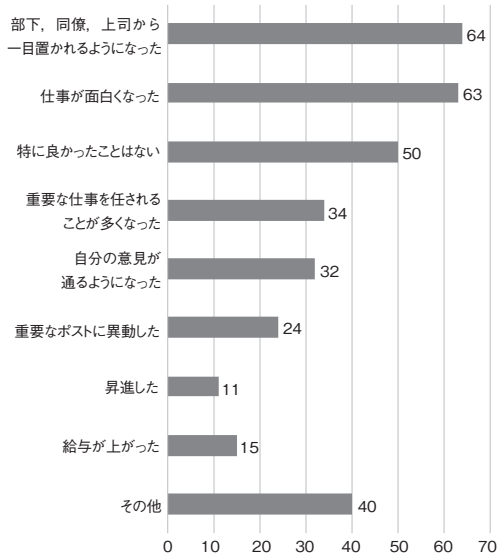
(3) 資格を取得して良かったこと

「診断士資格を取得して良かったことは何ですか」という質問に対して、「部下、同僚、上司から一目置かれるようになった」が64名で最多。次に多かったのは、「仕事が面白くなった」(63名)という回答である。また、「重要な仕事を任されることが多くなった」(34名)や「重要なポストに異動した」(24

名)のように会社から期待されるようになったという回答も多く見られた。

一方で、「特に良かったことはない」(50名)という回答も多かった。

図表5 診断士資格を取得して良かったことは何ですか



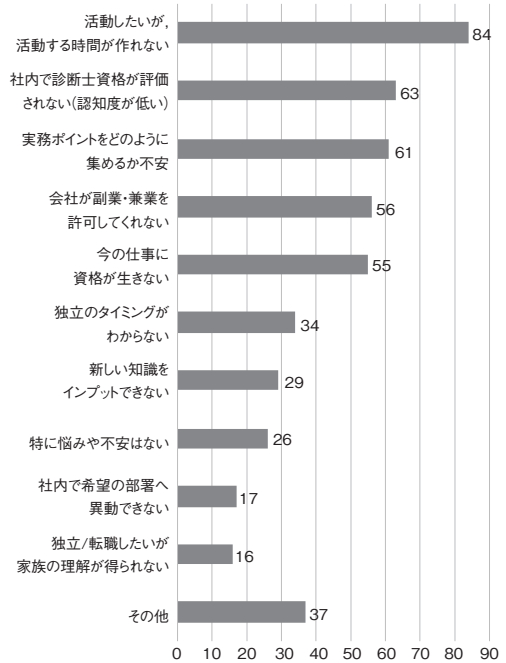
(4) 一番の悩みは

「現在抱えている悩みはありますか」という質問に対して、「活動したいが、活動する時間が作れない」という回答が84名と最多だった。3番目に多かった「実務ポイントをどのように集めるか不安」(61名)という回答は、以前からよく聞く声である。

2番目に多かった「社内で診断士資格が評価されない(認知度が低い)」(63名)という回答や、4番目の「企業が兼業・副業を許可してくれない」(56名)と5番目の「今の仕事に資格が生きない」(55名)という回答は、会社の考え方を含めて解決していかなければならないことである。

企業内診断士は本業の業務との兼ね合いで、どのようにして診断士活動の時間を作るのかも課題であるが、企業内で診断士資格の認知度を高めて、資格を活用できるようにする土壌づくりも課題と考えられる。

図表6 現在抱えている悩みはありますか



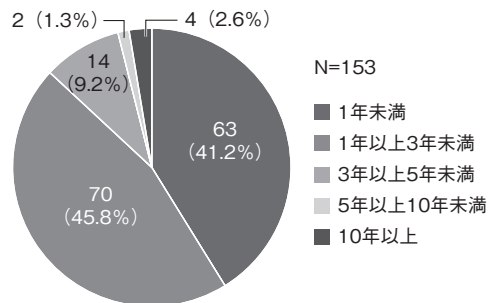
3. 独立診断士の現状

企業内診断士が、独立する道を選択した場合に考えるべきことは何か。その検証のために、独立診断士にもアンケートを行った。

(1) 資格取得後3年未満の独立が多い

「資格取得後、何年で独立しましたか」という質問に対して、「1年未満」、「1年以上3年未満」と回答した数は、合わせて133名(87%)となった。資格取得後3年未満で独立をする中小企業診断士が多いようだ。

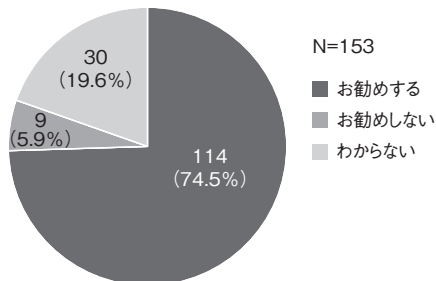
図表7 資格取得後、何年で独立しましたか



(2) 独立志向の方には早めの独立がお勧め

「企業内診断士の人に対して早めの独立をお勧めしますか」という質問に対して、「お勧めする」との回答が、実に114名（74.5%）もあった。先輩の独立診断士は、独立志向がある方については早めの独立を勧めているのである。

図表8 企業内診断士の人に対して早めの独立をお勧めしますか



(3) 独立する前にすべきことは

「独立する前にしておいたほうが良いことは何ですか」との質問に対して、最も多い回答は、「家族の同意を取っておくこと」（120名）であった。

家族に不安を与えないように独立することが一番良い形といえる。その後、独立診断士として活動していくにも、家族の協力が必要になってくる。独立診断士としてスタートを切るには家族の同意は必要不可欠である。

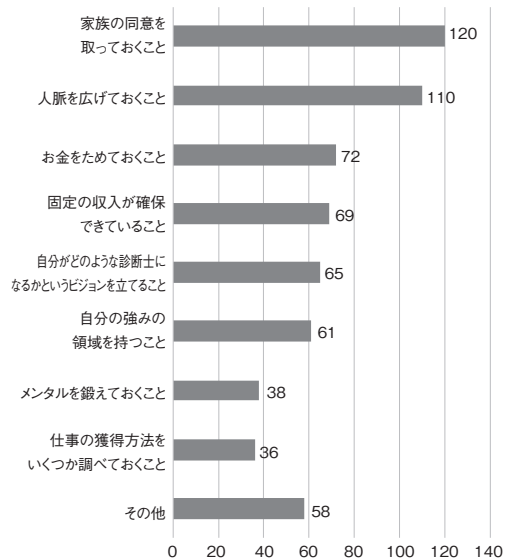
次に多かった回答は、「人脈を広げておくこと」（110名）であった。中小企業診断士の仕事は人伝てに入ってくる人が多いことから、幅広く人脈を広げておくことが求められる。

スタート時に幅広い人脈があれば、それだけで勢いをつけられるであろう。

その次に多かった回答は、「お金をためておくこと」（72名）と「固定の収入が確保できていること」（69名）であった。

独立直後は、すぐに売上が立つとは限らないため、お金の問題は重要である。

図表9 独立する前にしておいたほうが良いことは何ですか

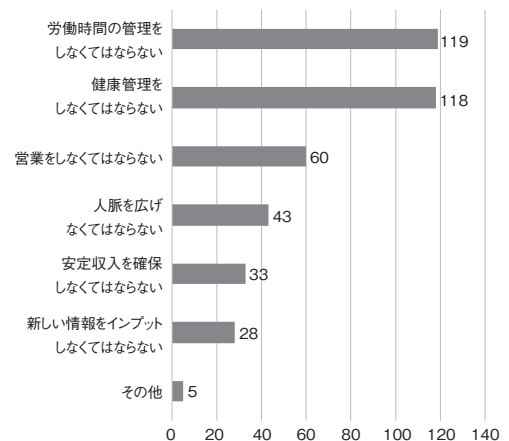


(4) 独立してからの課題は時間と健康

「独立してどのような課題がありましたか」という質問に対して、「労働時間の管理をしなくてはならない」（119名）と「健康管理をしなくてはならない」（118名）が目立って多かった回答であった。

独立したら、労働時間の制限は自分の裁量になる。労働時間は、良くも悪くも自身の健康問題にかかわってくる。時間管理も健康管理も完全に自己責任である。

図表10 独立してどのような課題がありましたか



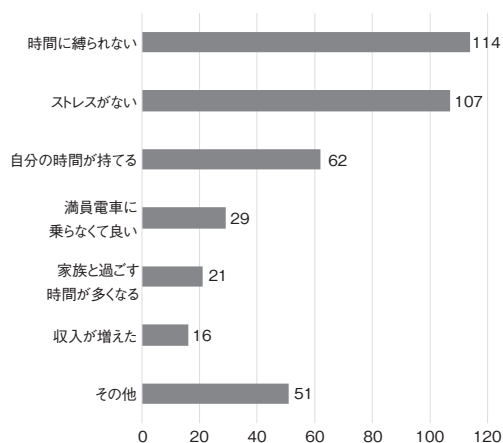
### (5) 独立後の満足度は99.3%

「独立して良かったですか」というシンプルな質問に対しては、ほぼ全員の152名(99.3%)が「独立して良かった」と回答している。

また、「独立して何が良かったですか」という質問に対しては、「時間に縛られない」という回答が114名で、次に「ストレスがない」という回答が107名と多かった。

自己責任で時間管理ができるため、ストレスが少ないと考えられる。

図表11 独立して何が良かったですか



## 4. アンケートのまとめ

最近の企業内診断士には将来の選択肢として、企業内でのキャリアアップはもちろんのこと、副業・兼業で資格を活用するという形もある。また、資格を活用して転職や独立をするという従来からあった選択肢もある。企業内診断士として多様な資格の生かし方があるのだ。

次章からは、「自社内で活躍する企業内診断士」、「会社の副業・兼業制度を利用して活躍している企業内診断士」、「資格を生かして転職し企業内診断士としてさらに活躍している企業内診断士」、「企業内で活動後、独立を選択して活躍している企業内診断士」の事例を紹介する。

4名の中小企業診断士のスタイルを参考に、自分に合った企業内診断士としての将来の姿を描いていただければ幸いである。

### 佐藤 和哉

(さとう かずや)

大学卒業後、NTTに入社。2012年に独立してWebプロモーションの会社を設立。2019年中小企業診断士登録。現在はWebプロモーションとコンサルティングを融合させて活動している。

